

お客様本位の
業務運営に関する
取組状況 2023

2024年3月

お客様の最善の利益の追求

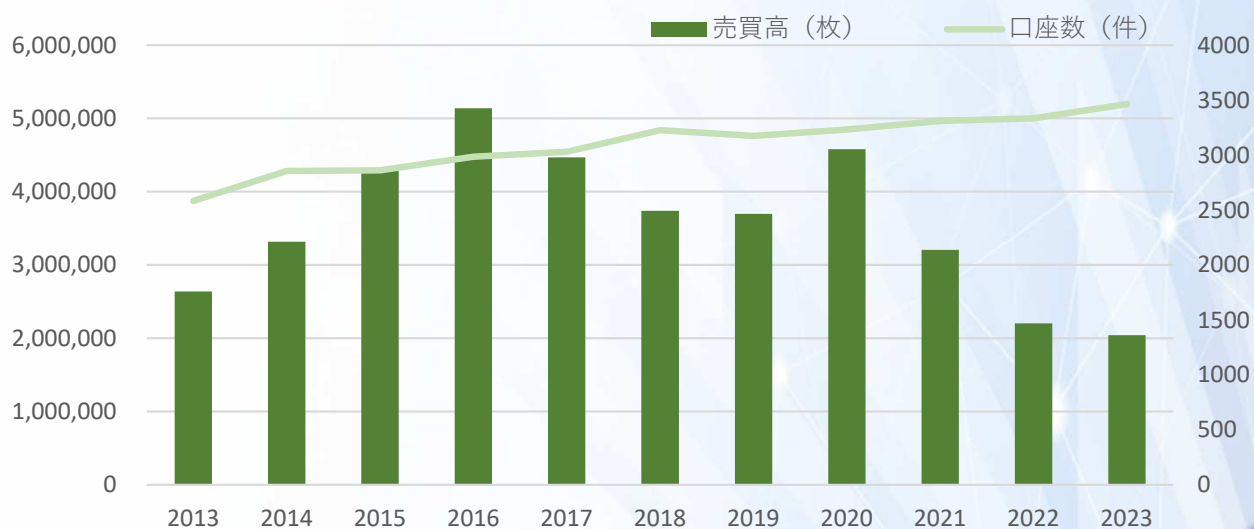
取扱業務



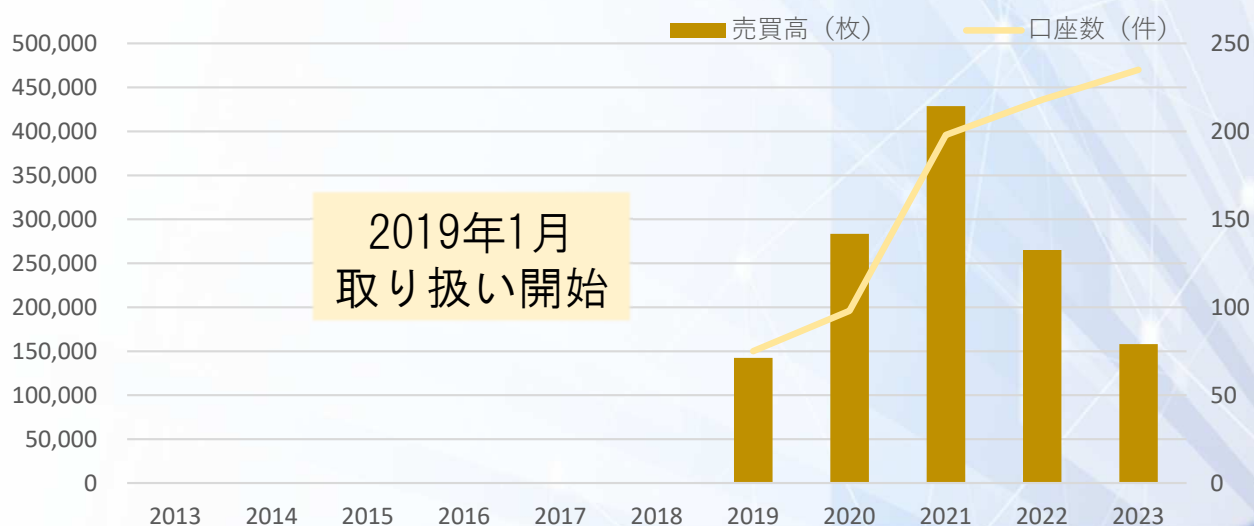
当社は、商品先物取引、取引所為替証拠金取引、取引所株価指数証拠金取引、純金積立等の多岐に渡る商品を取り揃え、お客様に合わせた商品サービスの提供を通して、お客様の信頼を獲得し、ビジネスを拡大することを目指しております。

お客様ご自身でインターネットを使ってトレードをされる場合は商品先物取引については業界最安値水準手数料とさせていただきます。同様に取引所株価指数証拠金取引についてもセルフコースは業界最安値水準とさせていただきます。取引所為替証拠金取引につきましては手数料無料とさせていただきます。

当社におけるくりっく365取引売買高及び口座数



当社におけるくりっく株365取引売買高及び口座数



当社における商品先物取引売買高及び建玉



利益相反の適切な管理

金融機関の提供するサービスが多様化する昨今、金融機関内において、競合・対立する複数の利益が存在し、利益相反が発生する可能性が高まっています。

こうした状況のもと、岡安商事株式会社（以下「当社」という。）においても、お客様の利益が不当に害されることがないように、利益相反取引を管理することが求められています。

当社は、金融商品取引法上の第一種・第二種金融商品取引業者であり、同法に基づく利益相反管理体制の整備において求められる利益相反管理方針（以下「方針」という。）を制定いたしました。

- 当社は、利益相反取引をあらかじめ、以下のとおり類型・特定化します。
- 当社等がお客様との関係を通じて入手した情報を利用した取引
- 利害が対立している取引
- 同一の対象に対して競合する取引

当社は、利益相反となる取引を特定した場合は、次に掲げる方法により当該お客様の保護を適正に確保します。

- 対象取引を行う部門と当該お客様との取引を行う部門を分離する方法
- 対象取引又は当該お客様との取引の条件又は方法を変更する方法
- 対象取引又は当該お客様との取引を中止する方法
- 対象取引に伴い、当該お客様の利益が不当に害されるおそれがあることについて、当該お客様に適切に開示する方法。

（１）利益相反管理統括部署の設置

- 当社は利益相反の管理を行うにあたり、利益相反管理統括者として内部管理統括責任者を置きます。利益相反管理統括者は、利益相反取引の特定及び利益相反管理に関する全体的な管理体制を統括します。

（２）監査体制について

- 監査室は、定期的に利益相反管理に係る人的構成及び業務運営体制を検証いたします。

手数料の明確化

当社は、商品（商品先物取引・取引所為替証拠金取引等）や取引の方法（対面取引・ネット取引等）に応じて、お客様より手数料をご負担いただいております。

これら手数料に関しましては、商品ごとの契約締結前交付書面及びホームページにてご確認いただけます。

当社がいただく手数料は、当社が取引所に支払う取引参加料金や営業員による情報提供や代行注文入力等のサービスに係る人件費、各種ご参考資料の作成やお取引内容の報告書送付などの業務運営に係る事務費用、システムの開発・維持管理費等を総合的に勘案した対価として設定しております。

また、お客様に直接ご負担いただく手数料とは別に、取引所等からの取引振興料を受け取るものもございます。

相場ライフ

通常手数料コースー商品先物オンライントレードの「相場ライフ」

会社概要 | サイトマップ | お問い合わせ

ホーム > 相場ライフ

為替ライフ

手数料ー取引所為替証拠金取引(FX)の「くりっく365」

会社概要 | サイトマップ | お問い合わせ

ホーム > くりっく365 (取引所 F X) > くりっく株365 (日経225・NYダウ等) > C X オンライントレード > 商品先物取引 > 純金積立

月末の

日 月 火 水 木 金 土 日
● ● ● ● ● ● ●
● ● ● ● ● ● ●
● ● ● ● ● ● ●

日中立会
(15)

A

金
銀
白金
ゴム(RSS3)
ゴム(TSR20)

相場ライフ

手数料

セルフコース

お客様ご自身でネット取引を行うコ

		新規
一般取引	通常	0円
	日計り	-
レンジ取引	通常	1,100円
	日計り	-

- お得意様振替(※)は代行入力も
- 代行入力は土曜日、日曜日および

ストックライフ

手数料

会社概要 | サイトマップ | お問い合わせ

ホーム > くりっく365 (取引所 F X) > くりっく株365 (取引所 C F D) > C X オンライントレード > 商品先物取引 > 純金積立

ホーム > 取引要綱 > 手数料

手数料

② ライセンサーについて

手数料

セルフコース

お客様ご自身でネット取引を行うコースです。

リセット付証拠金取引		ネット取引		代行入力	
		新規	決済	新規	決済
日経225 DAX® FTSE100 金ETF 原油ETF	通常	150円	150円	4,400円	4,400円
	日計り	-	150円	-	2,200円
NYダウ NASDAQ-100	通常	25円	25円	440円	440円
	日計り	-	25円	-	220円

※ 手数料は1枚当たり片道手数料(税込み)となります。
※ リセット手数料はネット取引手数料と同額となります。

重要な情報の分かりやすい提供

当社は、金融商品に関する情報を提供するに際して、金融商品の基本的な利益（リターン）、損失やその他のリスク、取引条件等について、お客様の投資判断において必要な情報を提供致します。重要情報シートにわかりやすくまとめております。

また、お客様のお取引経験、金融知識等を考慮の上、お客様の理解度に応じて明確、平易であり、誤解を招くことのない誠実な内容の情報提供に努めてまいります。

対面取引においては、お客様に提供する情報のうち、より重要な情報については営業担当者より丁寧にわかりやすくご説明するよう心掛け、また、ホームページやお客様に提供のご説明資料等の記載についても、お客様によりわかりやすくご理解頂ける内容となるよう努めてまいります。

当社は複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨をしていません。
当社は金融商品の組成には携わっておりません。


岡安商事株式会社
 OKAYASU SHOJI CO., LTD.

重要情報シート(金融事業者編)

1. 当社の基本情報(当社はお客様に金融商品の提供を完了するまで)

社 名	岡安商事株式会社
登録番号	金融商品取引業者 金融時務局長(金商)第304号
加入協会	日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
当社の概要を記したWEBサイト	https://www.okayasu-shoji.co.jp

2. 投資商品(当社がお客様に提供できる金融商品の種類は次の通りです)

	O	△	×
現金(投資性なし)	O	△	×
国内株式	取引所株式指数 証券取引	△	取引所外国株式 証券取引
円建て債券	×	外貨建て債券	×
特種な債券(仕組債等)	×	投資信託	×
オプション	×	ETF・ETN	×
REIT	×	その他の上場商品	×
保険(投資リスクなし)	O	保険(投資リスクあり)	×
これ以外の商品	取引所外証証取取引、商品先物取引、海外先物取引、非債権		

3. 商品ラインアップの考え方(商品選定のコンセプトや留意点は次の通りです)

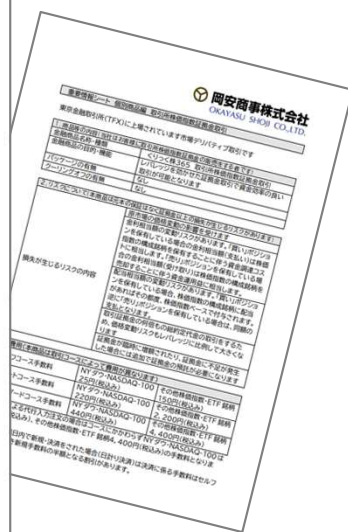
当社は共済業スローガンに掲げております。金融商品取引業界ではお客様ご自身の富創達が求められておりますが、まさに当社の金融商品理念そのものです。

お客様の様々なニーズにお応えするためリスクの低い金融商品から高いリスクの金融商品までラインアップを取り揃えています。また取引ルールや定期化された取引原則により、取引原則においては必ず面取引がインターネット取引に反対、初心者の方からプロトレーダーの方まで幅広い投資家層をカバーして対応。

4. 会費・相談窓口 (当社の各商品相談窓口対応時間 平日 9:00~17:30)

当社の有価証券窓口 取引所外証証取証券取引	0120-731-198
当社の有価証券窓口 取引所外証証取証券取引	0120-346-492
当社の有価証券窓口 商品先物取引 商品先物市場デリバティブ取引	0120-182-661
当社の有価証券窓口 株式相談	0120-730-934
加入協会の共通の相談窓口	0120-64-5005 (平日 9:00~17:30)
日本証券業協会 証券・金融商品あつちん市場センター 東京証券取引所 商品先物センター エヌ・シー・市場 中央証券 証券・先物商品市場	03-3664-6243 (平日 9:00~17:30)
金融庁 金融サービス利用 若者相談	0570-016-811 (平日 10:00~17:30)

 岡安商事株式会社 OKAYASHI SHOJI CO.,LTD.	
重要情報②- 個別商品編 取引取得引当証券取扱い	
東京金融取引所(TFXJ)に上場されている市場デリバティブ取引です	
1. 商品情報の内容(当社はお客様へ取引開始前商品販売を希望する者です)	
金融商品名・種別	<リツイート3x65 取引所得引当証券取引>
金融商品の目的・機能	レバレッジを効かせた証券取引で資金効率の高い取引が可能となります
パッケージの有無	なし
クーリングオフの有無	なし
2. リスクについて(本商品は完全の保証はなし(保証金による損失発生リスクがあります) インターバンク市場の為替変動の影響を受けやすい 一国間の通貨ペアの取引と異なる金利差の受払が 発生し、金利変動の影響を受けやすい 取引証券の利益と約定約定の損益を算定する ため、最終変動リスク(レバレッジ)に比例して大きくなり ます。 証券金が増加して証券金の残高に不足が生ずる 可能性があります。証券金の増減が必要になります	
損失が生じうる取引の内容	
3. 費用(本商品は取引コストによって費用が発生します)	
サポートコース手数料	一般通商 〇円 ラージ通商 1,100円(税込み) 超一般通商 6,950円(税込み)
サポートコース手数料	ラージ通商 6,875円(税込み) 超一般通商 1,375円(税込み) ラージ通商 13,750円(税込み)
スタンダードコース手数料	ラージ通商
※電匯による代り入金の場合金はコースにより手数料が一般通商：375円(税込み)、ラージ通商：13,750円(税込み)の手数料となります。	
※同一業日内で新規・決済をした場合(合計決済)は決済に係る手数料は新規手数料の半額となる割引があります。	
※手数料はキャンペーンの実施により割引となる場合があります。	
4. 新規売買契約の条件(本証券を解約する場合、一定の引当金を確保することがあります)	
取引開始1年以内に取引開始明細書をお送りください。ご希望にたいひ場合は新規取引を無断中止させていただきます	
取引口数の削減がより円滑となりやすき価格でのロイヤーがなくなる予定です	
出資の際に取引口数の削減が最低取引資金以下となる場合は全額出資とさせていただきます	
お取引の継続が不適切と当社が判断した場合はお客様の取引に制限をかける場合がございます。その場合、新規取引等が出ない等の不利益生じます	



お客様に相応しいサービスの提供

当社は、お客様の金融知識・投資経験・資産の状況・投資目的などを十分把握したうえで、これに照らしたお客様のニーズに合った適切な商品・サービスをご提案するという考えに基づき、「当社の勧誘方針」を定め公表しております。

特にハイリスク・ハイリターンの取引であるデリバティブ取引においては、商品の特性・お客様の属性などを勘案し、お客様にふさわしい商品であるかを慎重に審査し、場合により当社からご提案を控えさせて戴く事もございます。

また、お取引開始後においても、お客様に安心してお取引を継続して頂けるよう、お預かりしている資産に関する適切な管理・ご提案に努めてまいります。

金融商品の勧誘方針について

当社は、金融商品の募集・勧誘にあたってはお客様の信頼を確保することを第一義とし、金融サービス提供法に則り以下の方針に従って募集・勧誘にあたります。

1. お客様の知識、経験、資産の状況、投資の目的を配慮した勧誘を致します。
2. お客様が迷惑となるような時間帯での勧誘行為、あるいは執拗な勧誘行為は致しません。
3. お客様には、商品内容、契約内容等について十分理解いただいた上で、契約することを当社の基本姿勢と致します。その為に重要事項が記載されている契約前書面を早期に交付又は開示し、商品・契約内容について十分理解していただくように致します。
4. お客様がいつでも当社に質問・相談・苦情を寄せることができるようお客様相談窓口を設け、関係諸法規に則った対応を致します。

【お客様相談窓口】

・為替ライフ（くりっく365）

管理部 0120-73-1198 FAX：03-5641-3910 受付：午前9:00～午後5:30（平日）

・ストックライフ（くりっく株365）

管理部 0120-346-492 FAX：03-5641-3910 受付：午前9:00～午後5:30（平日）

・相場ライフ（商品先物オンライントレード）

お客様サポート窓口 0120-73-1156 受付：午前8:30～午後6:00（1/1、土、日祝を除く）

・商品先物取引

大阪本社 管理部 06-6227-0110 受付：午前9:00～午後6:00（1/1、土、日祝を除く）

東京統括店 管理部 03-5642-8660 受付：午前9:00～午後6:00（1/1、土、日祝を除く）

役職員に対する適切な動機づけの枠組み

当社は、社員の一人一人がコンプライアンスを重視したうえでお客様に公正に接し、お客様の最善の利益を追求するための行動がとれるよう、社内研修等の社員教育に力を入れ、意識の向上、知識の強化を図っております。

研修実施日	対象者	研修テーマ
2023年4月28日	役員	・コンプライアンス部の仕事
2023年5月16日～ 2023年5月18日	全社員	・個人情報保護～セミナー名簿利用について ・顧客管理の注意点～紛争事例について ・コンプライアンスについて
2023年5月29日	役員	・コンプライアンスリスクの理解（前編）
2023年7月25日	役員	・コンプライアンスリスクの理解（後編）
2023年9月12日～ 2023年9月14日	全社員	・お客様本位の業務運営について ・顧客管理の留意点～紛争事例について ・コンプライアンスについて
2023年10月23日	役員	・理念が浸透している会社が本気でやっている組織的不正をおこさないコンプライアンス研修
2023年11月28日	役員	・会社にとって大事なこと
2023年12月19日～ 2023年12月21日	全社員	・不当要求対策企業対象暴力編 ・企業と人権 職場からつくる人種尊重社会 ・顧客管理の留意点～最新紛争事例について ・コンプライアンスについて
2024年1月15日	役員	・原理原則がルールを変えていく
2024年2月28日	役員	・これからのマネジメントで知っておきたい3つの支配区分
2024年3月21日～ 2024年3月25日	全社員	・マネー・ローンダリングについて ・個人情報保護について ・顧客管理の留意点～最新紛争事例について ・コンプライアンスについて
2024年3月29日	役員	・不祥事や組織的不正が起こるメカニズムとは